

山と木に育まれた職人の技「木挽」

8月11日の山の日にちなみ、今回は山と木に育まれた「木挽」職人をご紹介します。本紙6月号で「甲賀の前挽鋸」のご紹介をしましたが、木挽はその前挽鋸の使い手でした。

一般に、樹木の伐採に従事する者を「木挽」と呼び、伐採した木材を製材する者を「木挽」といいます。しかし、代々甲賀で木挽を家業としてきた田中新治郎氏（1929～2017）への聞き取りによると、製材としての挽割作業だけでなく、伐木、木出し、玉切、ハツリ、そして木取りと木にかかわるあらゆる仕事ができないと一人前の木挽とは言えないということです。中でも木取りは木の性質を読み、木を生かす熟練の技が必要で、木挽の腕の見せ所とよくいわれます。



▲挽割作業の様子(田中新治郎氏)

現在の機械製材により、板が仕上げられますが、かつては木挽により、前挽鋸で板が挽かれました。挽き方には木口に鋸を垂直に立てる挽き方と、鋸を水平に寝かせて挽くすくい挽きがあります。また大木の場合は、二人で両側から鋸を入れて挽く相挽きという方法で挽きました。手挽きする場合、およそ2分(6mm)の厚さまで挽け、1間(1.8m)の長さを半日ほどで挽き終えました。

こうして立木の選定から始まり、山から木を搬出し、製材を行い、最終的に大工の仕様通りに仕上げていることが求められました。そこには自然とともに生き、木を熟知した木挽職人の誇りが感じられます。彼らは、自然の中で生育した、ひとつとして同じものがない樹木を相手に、あたかも樹木と対話しながら、伐木や製材の作業を行ってきました。木挽職人もまた自然の中に溶けこみ、自然の一部として生きてきたといえるのではないのでしょうか。

甲南ふれあいの館では、木挽が実際に使った前挽鋸などを展示しています。ぜひご観覧いただき、木挽職人の技と誇りを感じてください。

***甲南ふれあいの館(入館無料)**
住所：甲南町葛木925番地
開館時間：10時から17時まで
休館日：月・火曜日、8月12日、16日、年末年始

問合せ 歴史文化財課 普及活用係 (Tel) 69-2252 (Fax) 69-2293

掲載している催し等は、7月20日時点の情報であり、新型コロナウイルス感染症の影響により、休止・延期している場合があります。



であいひろがる！ みんなの図書館

映画会、乳幼児向けおはなし会は当面の間休止します。

※3歳以上を対象としたおはなし会は開催しています。

8月15日～
9月14日までの
行事予定

行事名	内容	月日	曜日	時間	場所
対面朗読	対面朗読 ※事前予約要	8月19日 9月2日	金 金	13時30分～15時30分	甲南図書交流館
ギャラリー	紫香楽和紙絵ハガキ展	9月14日(水)～9月30日(金)			信楽図書館
ギャラリー	夢の学習 甲南展示	9月1日(木)～9月7日(水)			甲南図書交流館
ギャラリー	第4回多羅尾小学校オペレッタの衣装展	9月9日(金)まで			信楽図書館
コンサート	ティータイム・コンサート	8月28日	日	15時～16時	信楽図書館
その他	女性のためのビジネス読書会	9月7日	水	10時30分～11時30分	水口図書館

課題図書(青少年読書感想文全国コンクール課題図書)についてのお知らせ

より多くの方が課題図書を利用できるように、7月1日から8月31日までの間は
①貸出期間は1週間 ②延長不可とさせていただきます。
ご理解・ご協力をお願いします。

マルチメディアデジター図書が利用できます。

マルチメディアデジターとは文字・音声・画像を同時に再生できるデジタル録音図書です。活字による読書が困難な方を対象に、館内でご利用いただけるタブレット端末の貸出を始めました。収録作品は、絵本・児童書が中心です。※利用は図書館内のみとなります。ご希望の方は図書館のカウンターでお申し出ください。

開館時間	問合せ・申込み	休館日・閉館日
10時～18時 ※甲南図書交流館の夜間開館は休止しています。	水口図書館 ☎ 63-7400 ☎ 63-4737 土山図書館 ☎ 66-1056 ☎ 66-1067 甲賀図書情報館 ☎ 88-7246 ☎ 88-7005 甲南図書交流館 ☎ 86-1504 ☎ 86-1505 信楽図書館 ☎ 82-0320 ☎ 82-3921	木・金・第3水曜日 月・火・第4金曜日 木・金・第4水曜日 月・火・第4水曜日 月・火・第4木曜日

図書館の詳細情報は下記または甲賀市図書館ホームページまで
<http://lib.city.koka.lg.jp>



共生社会の実現を！

～個性を理解し、尊重しあえる社会に向けて～

Vol.3 知的障がい・発達障がい

知的障がいとは、脳の発達など知的機能と社会生活への適応能力が低いことで、日常生活における困難が生じている状態
発達障がいとは、先天的な脳機能の偏りによるもの。
周りの接し方や個人の努力不足が要因ではありません

気持ちを伝え合うために
みんなができること

- 短い文章で要点を伝える。
- あいまいな表現はせず、具体的に伝える。
- やさしくゆっくりと相手のペースに合わせて聞く。
- 言葉だけでなく、絵や図などを利用し視覚的にわかるようにする。(コミュニケーション支援ボード)
- 内容によっては具体的な身振りなど動作を用いる。
- 本人の実際の年齢にあった接し方をする。
- 予定変更は前もって伝える。 など

相手に寄り添って、相手に応じた方法でコミュニケーションをとりましょう。

問合せ 障がい福祉課 (Tel) 69-2161 (Fax) 63-4085

